

はじめに

- 日本が相対的に貧しくなっているのは確からしい。70年代との最も大きな違いは「成長率」
 - 70年代年率8%成長→現在ほぼ0%
- 個人の対策を3つ、お話しします。

70年代に逆戻り？

日本はもう先進国とは言いにくい現実。個人はどう対策すべき？

はじめに

1. 日本が70年代に！？相対的に貧しくなっているのは確からしい

- 70年代との最も大きな違いは「成長率」
- 70年代年率8%成長→現在ほぼ0%
- 今後の日本も、大きな成長は見込めなさそう

2. 個人でできる対策3つ

- 株式投資を通じた海外成長の取り込み
- ライフプランを通じた将来リスクの低減、資産形成
- 海外から学ぶ姿勢

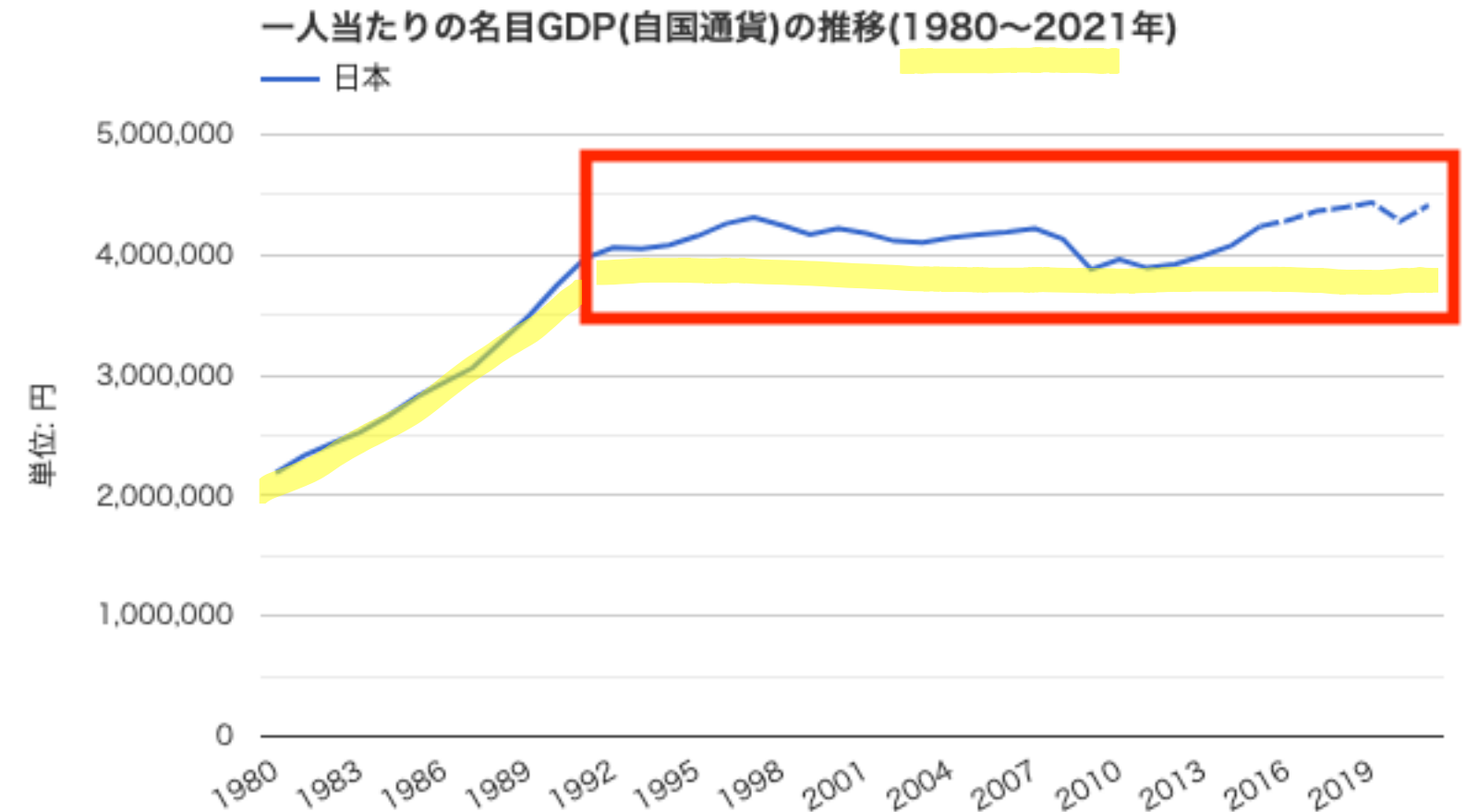
日本が相対的に貧しくなっている件

表1.2 世界の一人当たりGDPの成長率（年平均成長率）

	1500-1820	1820-1870	1870-1913	1913-1950	1950-1973	1973-1998
オーストリア	0.17	0.85	1.45	0.18	4.94	2.10
ベルギー	0.13	1.44	1.05	0.70	3.55	1.89
デンマーク	0.17	0.91	1.57	1.56	3.08	1.86
フィンランド	0.17	0.76	1.44	1.91	4.25	2.03
フランス	0.16	0.85	1.45	1.12	4.05	1.61
ドイツ	0.14	1.09	1.63	0.17	5.02	1.60
イタリア	0.00	0.59	1.26	0.85	4.95	2.07
オランダ	0.28	0.83	0.90	1.07	3.45	1.76
ノルウェー	0.17	0.52	1.30	2.13	3.19	3.02
スウェーデン	0.17	0.66	1.46	2.12	3.07	1.31
スイス	0.17	1.09	1.55	2.06	3.08	0.64
イギリス	0.27	1.26	1.01	0.92	2.44	1.79
12国平均	0.15	1.00	1.33	0.83	3.93	1.75
ポルトガル	0.13	0.07	0.52	1.39	5.66	2.29
スペイン	0.13	0.52	1.15	0.17	5.79	1.97
他	0.15	0.72	1.28	0.87	4.90	2.39
西ヨーロッパ平均	0.15	0.95	1.32	0.76	4.08	1.78
米国	0.36	1.34	1.82	1.61	2.45	1.99
他のヨーロッパ系諸国	0.20	2.29	1.76	1.14	2.52	1.64
ヨーロッパ系諸国平均	0.34	1.42	1.81	1.55	2.44	1.94
日本	0.09	0.19	1.48	0.89	8.05	2.34
中国	0.00	-0.25	0.10	-0.62	2.86	5.39
インド	-0.01	0.00	0.54	-0.22	1.40	2.91
他のアジア	0.00	0.13	0.64	0.41	3.56	2.40
アジア合計	0.00	-0.11	0.38	-0.02	2.92	3.54
アフリカ	0.01	0.12	0.64	1.02	2.07	0.01
世界全体	0.05	0.53	1.30	0.91	2.93	1.33

出所：Maddison (2001)

出所:世界経済の発展と技術革新 (1) (増山幸一、『経済研究』明治学院大学、126、2003)



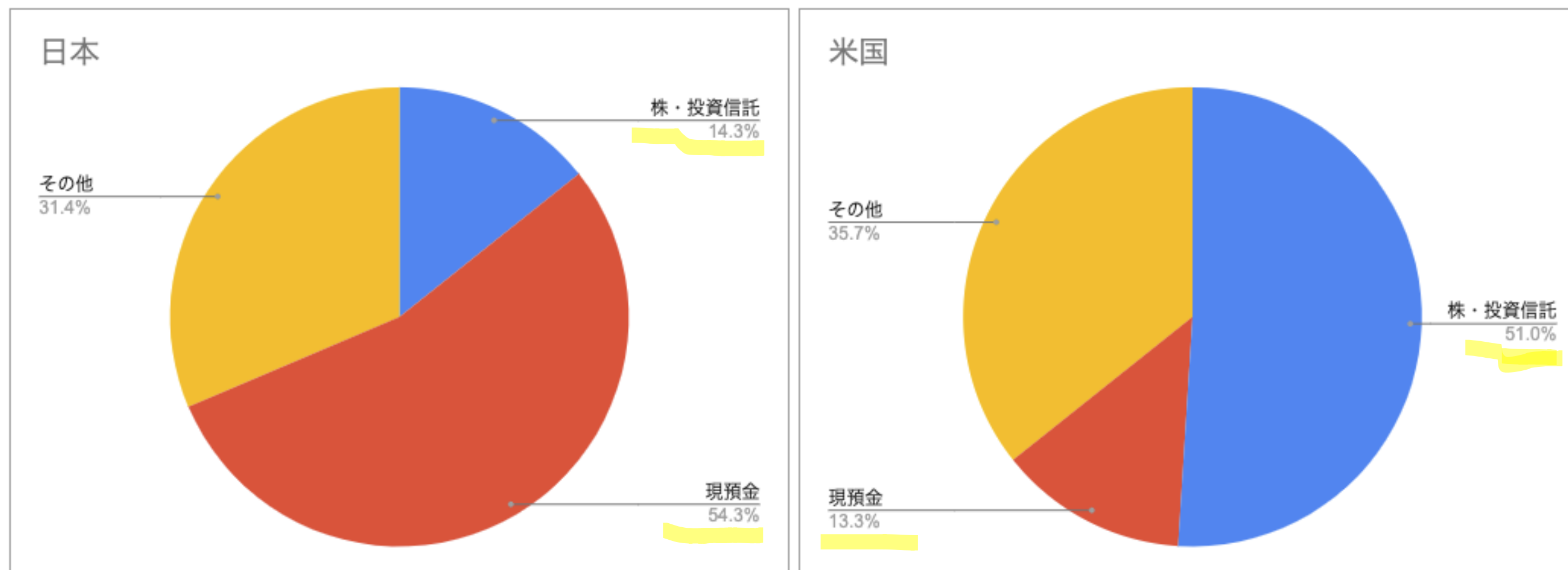
出所:世界経済のネタ帳

- 日本の1人あたりGDP成長率は1970年代を境に右肩下がり
- 他国は引き続き成長を続けており、相対的に貧しくなりつつある

貧しくなっていく中で、個人のとれる対策3つ（その1）

■ 海外の成長を取り込む

- インデックス投資等を通じて、海外の経済成長を個人でも取り込むことができる
- ただし日本人の貯蓄神話は根強い（日本と米国では、株と預貯金がちょうど逆）
- 金融教育の遅れは今後も深刻な影響を及ぼすだろう



出所:資金循環の日米欧比較（日銀、図表2）より筆者作成。データは2021年3月末時点。

貧しくなっていく中で、個人のとれる対策3つ（その2）

■ 将来のリスクに「積極的に」備える

- 単一のライフプランでハッピーに人生を終えられた70年代とは違う
- 人生100年時代で、生き方の戦略はどんどん複雑化している
- 将来の金銭的リスクにライフプランで積極的に備えながら、戦略を立てる。受け身だけでなく、能動的に

■ 海外から学ぶ

- 海外から学ぶ必要性は以前から変わらないが、今後増々高まるだろう
- 海外渡航のコストは上がる一方、インターネットが海外の壁を低くしてくれる。学ぶチャンスはいくらでもある。

まとめ

1. 日本が相対的に貧しくなっている

- 70年代との最も大きな違いは「成長率」
- 70年代年率8%成長→現在ほぼ0%
- 今後の日本も、大きな成長は見込めなさそう

2. 個人でできる対策3つ

- 株式投資を通じた海外成長の取り込み
- ライフプランを通じた将来リスクの低減、資産形成
- 海外から学ぶ

無料プレゼント中！



詳しくはこちら



<https://startup-fp.com/presentpdf>

行列のできるFP事務所プロデューサー 林健太郎

By 林FP事務所